

修理前



修理後



入賞作品

兄とウエストポーチ

或る日、一人暮らしの兄から電話があった。「ウエストポーチのベルトがはずれて使えなくなった」と。年老いた兄は杖をつくので、このウエストポーチは病院の受診やリハビリ等外出の折にはなくてはならないものだ。しかし外側の皮には傷、内側もポロポロはげて色も褪せ、すっかり古びた様子だ。買い替えを奨めたが、修理してくれと言う。

15年以上前、兄はちよつとした隙に肩かけカバンを盗まれてしまった。もちろん、引き出したばかりの生活費等もろもろ返ってこなかった。その出来事がきっかけで、私はこのウエストポーチをプレゼントした。お出かけの時は腰にびつたりはめて、安心、安全だった。

幸い修理店の存在を知り、丈夫に綺麗にしていただいた。

早速持つて行くと、兄はホツとした嬉しそうな顔を見せた。長い間使い続けていくうちに愛着も湧き、壊れるとガツカリしてしまう。兄はこのウエストポーチがお気に入りです。本当に大切にしていたんだと感じ、簡単に買い替えを奨めた私は反省しきりだった。

大分県 大宅妙恵子さん

(修理店) 有限会社 いなづま